

# V2G 導入事例

豊田通商株式会社様  
中部電力株式会社様

(2020年4月より中部電力パワーグリッド株式会社)

EVの蓄電池を活用したバーチャルパワープラント(VPP)V2Gアグリゲーター実証事業

## 導入場所

愛知県

## 稼働環境

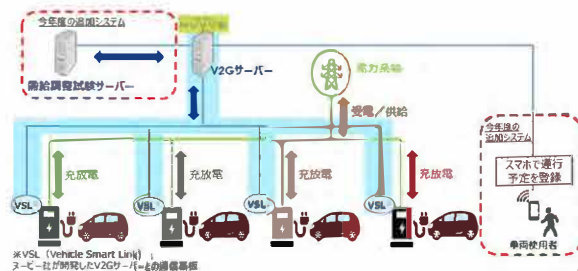
eLINK(4台)、プリウスPHV(4台)

## 用途

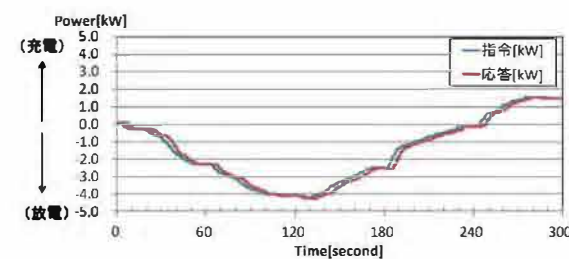
### V2Gアグリゲーター実証試験

電動車の車載蓄電池を束ねて充放電させることにより、調整力や再エネの供給力シフト等として電動車を活用する仕組みの構築を目指す。

- 需給調整試験サーバーからの需給調整指令を想定した指示に基づき、V2G制御システムの調整力としての応動性の評価
- 日常的に通勤や業務に使用されている電動車を用い、より実環境に近い条件下で運用



豊田通商様資料より引用



データ提供元:Nuve cooperation

## eLINKの主な機能

- ECHONETLite通信を使ったEVの充放電の遠隔制御
- 応動性のよい充放電制御  
車両との通信接続待機により約1秒で停止⇒運転、定格指示の出力精度 約99.5%
- カスタマイズ対応  
無線ルータなどの内蔵、ECHONETLite通信のユーザ定義プロパティに対応

